

【福島県景気動向指数】

— 平成22年12月分 —
 (平成23年2月24日公表)
 (福島県企画調整部 統計分析課調べ)

1 概 括

12月の景気動向指数（CI：コンポジット・インデックス、H17年＝100）は、先行指数105.6ポイント、一致指数90.1ポイント、遅行指数100.5ポイントとなった。

先行指数は、前月（98.5ポイント）を7.1ポイント上回り、3ヵ月振りに上昇に転じた。

一致指数は、前月（87.7ポイント）を2.4ポイント上回り、2ヵ月連続で上昇した。

遅行指数は、前月（99.9ポイント）を0.6ポイント上回り、2ヵ月振りに上昇に転じた。

2 一致系列の動向

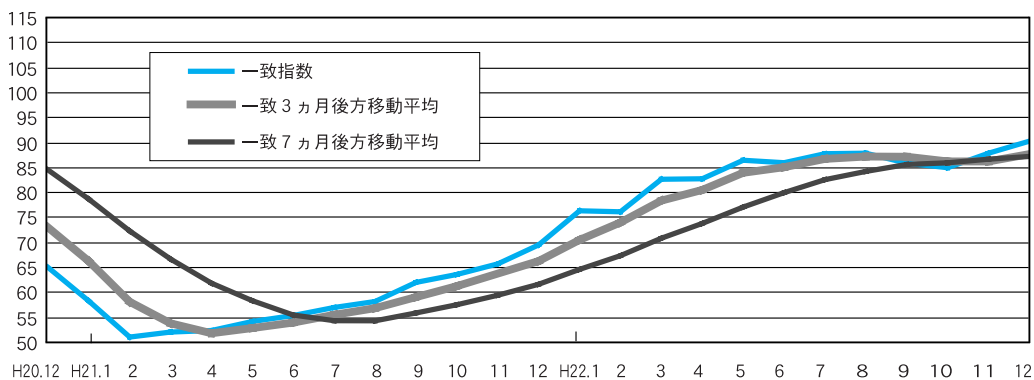
寄与度をみると、有効求人倍率は4ヵ月連続、雇用保険受給者実人員、所定外労働時間指数（全産業）、大口電力使用量は3ヵ月連続、生産指数（鉱工業）、出荷指数（鉱工業）は2ヵ月連続のプラスとなった。

また、手形交換金額（1枚当たり）はマイナスからプラスに転じた。

一方、大型小売店販売額（既存店）、建築着工床面積（鉱工業）はプラスからマイナスに転じた。

内訳をみると、生産指数（鉱工業）がプラス1.43ポイント、手形交換金額（1枚当たり）がプラス1.38ポイント、大口電力使用量がプラス0.64ポイント、所定外労働時間指数（全産業）がプラス0.56ポイント、有効求人倍率がプラス0.53ポイント、雇用保険受給者実人員がプラス0.23ポイント、出荷指数（鉱工業）がプラス0.22ポイントとなっており、これらの指標が上昇に寄与した。

3 CI一致系列の推移



- (注) 1 CIの寄与度とは、CIの増減がどの採用系列により引き起こされているかを把握するものです。
 (出典：内閣府経済社会総合研究所景気統計部「景気動向指数の利用の手引き 1. (10)」より)
- 2 一部の計数は速報値を用いており、これはPで示しています。また、確定した段階で訂正を行い、これはrで示しています。
- 3 「3ヵ月後方移動平均」とは、今月値から過去3ヵ月の平均値を、「7ヵ月後方移動平均」とは、今月値から過去7ヵ月の平均値を指します。

(※「福島県景気動向指数」は3ヵ月ごとに掲載いたします。)